

発行：平成24年1月31日



かながわ

No.56

看護連盟通信



芦ノ湖と遊覧船

撮影：広報委員 山内美智子

謹んで新年の ご挨拶を申し上げます



神奈川県看護連盟 会長代行 神部 周子



日頃より神奈川県看護連盟の活動をご支援頂きまして有難うございます。昨年の東日本大震災では多くの方々の悲しみの姿に心が痛みました。被災された人々の一日も早い復興をお祈り致します。

さて、働く看護職の「労働条件や労働環境の改善」の実現、「看護師特定能力認証制度（特定看護師制度）」の法制化に向け、国会での審議が待たれます。

看護連盟は、看護職が活き活きと働ける職場作りのために、次期参議院選挙にむけて新たな気持ちで、前進を始めたいと考えております。一人一人の皆様の強力なご支援をよろしくお願い申し上げます。





日本看護連盟会長
清水嘉与子

明けましておめでとうございます。
昨年末、宮城県の仮設住宅を訪問してきました。日本訪問看護振興財団が派遣している訪問看護師の活躍ぶりを見るのが目的のひとつでしたが、どこの仮設でも赤いトレーナーを着た看護師が住民の皆さんの生活に溶け込んで、頼りにされていました。この事業の発端は宮城県看護連盟の活躍の中から生まれたものです。震災の傷跡はまだ癒えませんが、看護職の存在感が大きくなったことを実感させられています。長寿社会を少しでも豊かなものにするため看護職が大きく貢献できるはずです。そんな政策を実現するために、日本看護連盟は引き続き国政の場へ看護の代表を送り続けます。神奈川県看護連盟会員の皆様の一層のご活躍を願っております。



参議院議員
高階恵美子

神奈川県看護連盟の皆様、謹んで年始のご挨拶を申し上げます。
昨年は、東日本大震災をはじめとした甚大な災害に見舞われ、未だに悲しみと苦難の中にありますが、一方で社会とのつながりの重要性やその価値観、命の大切さを再認識する機会ともなりました。かねてより、看護職は命を守り、社会のつながりの中で人々に寄り添って参りましたが、今このような時代だからこそ、頼れる専門職として、看護職に対する信頼や期待が高まっていることと思います。看護職の皆様が生き生きと活躍していくことができるよう、地道に芯を貫いて参る所存です。これからも引き続きご指導ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

神奈川県看護連盟の皆様にはいつも温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年は未曾有の大震災という試練の中、大変な国難の一年となりました。新しい年を迎えるにあたり、この一年、この国が復興への道のりを一歩ずつ着実に歩んでいけるよう、国民の皆さんの安定した暮らしを第一に考え、国政の場で精一杯努めてまいる決意をあらたにしています。

そして看護職の皆さんにも現場が良い方へ変わったと少しでも実感していただけるよう、今年も変わらず精一杯頑張ってみます。どうか本年も皆様のお声をお聞かせ頂き、ご指導ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



衆議院議員
あべ 俊子

2012年の輝かしい年を迎えられた皆様に心よりお喜び申し上げます。

日頃から当協会のご理解とご協力をいただき深く感謝申し上げます。

急速な高齢化の進行、医療技術の更なる

進歩への対応、県民の意識の変化など、医療を取り巻く環境は、速度が増すと同時に日々変化しており、医療サービスのあり方について着実に取り組みを進めていく必要があります。

当協会は、引き続き、看護職の専門性の向上、チーム医療と業務分担、医療現場における労働環境の改善等々に関係団体・行政の皆様とともに努めて参ります。末筆となりましたが、2012年が実り多き1年となりますことを祈念いたしまして、ごあいさつとさせていただきます。



神奈川県看護協会会長
平澤 敏子

就任あいさつ

幹事長 山内 精子



平成23年6月から神奈川県看護連盟幹事長を務めさせていただいております。看護連盟の活動を通して、職場の仲間が「働き続け、学び続けることのできる環境」と会員の皆様が望む「豊かな長寿社会」を創り挙げていきたいと思っております。

平成23年度 都道府県・支部別会議

日本看護連盟主催 都道府県・支部別会議が平成23年8月25日(木)・26日(金)に神奈川県総合医療会館研修室で開催された。

- 日本看護連盟石田幹事長と神奈川県看護連盟役員13名・支部役員52名の参加のもと、支部別にインタビュー形式で意見交換を行った。
- 次期参議院選挙では、看護職の政治家を国会に送

るためには、全国で**25万票**を獲得する必要がある。

- 神奈川県看護連盟は、獲得目標得票数を**4500票**と決めたが、過去の選挙活動を鑑みながら**4500票**をどのようにして獲得するかを話し合った。
- 日本看護連盟石田昌宏幹事長から「熱伝導」の講義を受け、自分の考えをしっかりと持ち、看護に対する強い思いを持ち、仲間と思いを分かち合いながら、熱意をもって伝えていくことの大切さを学んだ。

平成23年度リーダーセミナー

日時：平成23年11月29日

場所：ホテルキャメロットジャパン



平成23年11月29日にホテルキャメロットジャパンにおいてリーダーセミナーが開催され、55名の参加がありました。

セミナーの内容は神奈川県副会長桃田氏による「看護連盟の役割」、日本看護連盟幹事の藤澤淑子氏による「看護政策過程入門」「連盟活動におけるリーダーシップ」「看護連盟の今後の活動」でした。受講者からは「看護政策のプロセスや看護党ができない理由がわかった」「現場の声を反映させるためには政界に看護職を送ることが必要」「連盟の理解には看護部長の影響力が大きい」「もっと連盟活動のPRが必要」等の意見が聞かれました。

また「要望書の書き方」、「看護連盟のリーダーとして、何をどう活動したらよいか」をテーマにしたグループワークでは、リーダーの

プログラム

- 看護連盟の役割（副会長 桃田寿津代氏）
- 看護政策過程入門（日本看護連盟幹事 藤澤淑子氏）
GW：要望書の書き方
- 連盟活動におけるリーダーシップ
- 看護連盟の今後の活動

役割とともに他施設の状況や課題を共有することができました。

看護協会の政策実現のために活動する協会員の集まりが看護連盟であることを、折に触れて看護職に伝える努力が必要であることを実感した研修でした。



被災地岩手県での 地域ボランティアに同行して

横浜第2支部 支部長 土田 博美



大槌町、泥の中のがれき撤去

昨年10月19日～22日の3泊4日、金沢区災害ボランティアに救護担当として参加した。ボランティア活動の他、往復の長いバス道中での参加者の体調管理と作業中の事故対応の役割もあった。NPO法人まごころネットが、ボランティア派遣先を調整、指示されていたが、寒さに向かい数が減少していくことを気にされていた。幸い救護の出番はなく、無事活動を終えることができた。



陸前高田 荒地での麦まき
まいた麦は、現在20cmほど成長しているとのこと

神奈川県 災害支援ナースの活動



災害支援ナースも医療チームに協働して診療の補助



避難所の小学校で教室を医務室として使用。
巡回診療の医師と、支援物資の薬品を確認中



お母さんが買い物に行っている間、子供を負ぶって
避難所の健康管理情報共有の為ミーティングに参加

第4回 ポリナビワークショップ in かながわ

2011年12月17日

今、改めて学ぶ!

『看護師の私たちが発災時にやるべきこと、
備えておくべきこと ~災害対策のイ・ロ・ハ~』

開催
致しました!



前・財団法人 小千谷総合病院看護部長 佐藤和美様を
講師にお迎えし、災害に備えた看護対応を学びました。

災害に対する意識を高めるためには、具体的にイメージ
することが出来るような動機付けが必要です。自分自身で
想像して、考察し、気付く事でいざという時に使える防災
行動を起こす事が出来ます。

看護部だけではなく組織として災害対策を考える必要が
あります。
(佐藤様のご講義より)

当日は看護職、看護学生、自由民主党神奈川県支部
連合会の方など約60名の方にお集まり頂きました。

他では聞くことができない、実際に災害現場で
看護活動をされた方のお話を聞く大切さを実感
しました。
(30代 看護師)

病棟を中心に、災害対策に向けて意識を高めて
いけたらと考えました。
(20代 看護師)



Q: ポリナビとは?

A: 「Politic Navigator's Network (ポリナビの正式名称)」の略。看護連盟の若手看護職を中心として2007
年に発足した集まりのこと。ポリナビでは「政治」「政策」の学びを通して、自分たちにできることを考え実
行することで日本の看護・医療がよりよいものになることを目指しています。神奈川県看護連盟青年部Lifeで
は年に一度、ポリナビワークショップの開催を予定しています。

今後もより活発な活動をしていけるよう尽力して参ります。これからもどうぞ宜しくお願い致します。(文責 浅川仁美)

トータルサポート。

- 寝具設備・病衣レンタル
- ユニフォームのリース・販売
- オムツ(布・紙)レンタル
- クリーニング全般
- 介護用品のレンタル・販売
- 給食業務受託 等

株式会社 柴橋商会

〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町 2-11-5 SGビル

Tel.045-312-5700 <http://www.shibahashi.co.jp>



4月に、幼稚園生のころから夢であった看護師になることができました。学生の頃以上に多くの方に支えられ、独り立ちできる日を目指して仕事をしています。看護の仕事は責任がとても大きく、想像していた以上にプレッシャーに襲われますが、患者さんからの「ありがとう」が本当にうれしく、やりがいも想像以上です。

学生の頃、学校の講義や連盟の研修で、患者さんが様々な問題で苦しんでいるということ学びました。そして就職し実際にお会いした患者さんは、学んでいた以上に、病気だけではなく多くの問題を抱えていました。それらを解決するためには、看護師は看護技術を磨くことはもちろん、世の中の動きに敏感になり、病院のスタッフ、家族、地域、国が患者さんを守るために何をしていくことが求められているかを考えて、看護をすることが必要だと思いました。高い意識を持った先輩方が、何もわからない私に真剣に語ってくださったおかげで、私はそのような思いを持つことができました。あと何か月かすると、私もそのような先輩方の仲間入りをします。その時に私も先輩方と同じように、後輩に多くを語れるように、たくさんのことを学んでいこうと思っています。

今後ご指導、よろしくお願ひいたします。



北里大学病院 中野 香織

新人ナースの声

初めての看護実践を通して ～新人看護師として働き始めて～



神奈川県看護連盟会員の皆様、こんにちは。

4月より県内の病院で看護師として勤務する事になりました。まだまだ先輩の足を引っ張る新人ではありますが、患者さんの笑顔を見るため、日々悩みつつ仕事をしております。

私が働き始めて感じた事は、やはり看護の力は素晴らしいという事、日々多大な業務がある中、患者さんの安全確保や笑顔をつくる先輩を見て、改めて看護師の難しさ、そして素晴らしさに感動しております。

また、働く中では政治・政策の動きが見えづらいという事も感じました。日々の業務が忙しく、残業して疲弊している中、連盟通信を読む時間確保が難しいという事です。看護基準や診療報酬などが決定する過程などを「政治の人が決める事」のように感じ、選挙などを通じそこに参画するという話が病院であまりされていない事も印象的でした。忙しさを極める看護の現場においては難しい事だと思われそうですが、現場との意思疎通をはかるため、より効果的な情報共有ツールを青年部から発信できたら、と思いますし、現場看護師として何かが発信できたらと思います。

今後も看護師として、そして青年部として、より一層尽力して参りますので、今後ご指導宜しくお願い致します。

神奈川県看護連盟青年部Life 矢込 進

支部長新年の抱負

相模原支部について紹介させていただきます。まず相模原市ですが、2010年4月に政令指定都市に移行し、横浜市、川崎市に次いで3番目に人口の多い都市となりました。その中で活動している支部役員は支部長を含め10名で、協力施設でみると6施設となっています。相模原支部の特徴は北里大学病院・北里大学東病院が南区にあり、相模原支部での連盟会員も殆どが両施設所属であることです。支部役員も両施設合わせ6名（うち1名は北里大学病院退職後の個人会員）の方に協力いただいています。今後の

新年を迎え、今年は穏やかな年でありますようにと願いました。昨年は心痛む年でしたが、また反面、日本人の強い心・冷静沈着な心を感じた年でもありました。東日本大震災からの復興に向けて、これからも私にできる支援をしていこうと思います。

県央支部では毎月1回は役員会を開き、連盟役員としてのモチベーションにつなげています。

連盟を少しでもわかってもらい、そして連盟会員の増員を図るためにどうしたらよいかを考え、今年度は支部研修を2回開催し連盟について話をしています。また施設

若い皆様に期待を込めて

新しい年が始まりました。年が明けても心穏やかでない方も多いのではないのでしょうか。現役の頃、病院現場の厳しさの改善要求を繰り返して行ってきました。予算の要求と執行について、医師と事務職に同時に興味を持って貰う資料の提示が最も有効な事を学びました。医師は数字を読まない傾向があり、事務職は数字を重要視する。経営に無関心の医師、危険防止の為の交渉は数字が出ていないという理由で却下する事務職。おかし体験を沢山しました。そこで若い20才から35才までの方

謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

昨年は、3月11日の東日本大震災によって、日本中の人々の生活が一変した年だったと思います。しかし同時に、人と人とのつながりの大切さを改めて実感した年でもありました。

そのような中、私は青年部Lifeの代表に就任させていただき、ポリナビワークショップの開催や各支部の研修会での講演に努めてきました。自分の未熟さゆえに皆様にご迷惑をおかけすることもありましたが、青年部メンバーや周りの方々の支えによって何とか無事乗り越えることができました。今年は辰年ということで、青年部Lifeや

一昨年以降交替がありました4支部長さんより、抱負を寄せていただきました。

相模原支部

支部長 吉武ひとみ



目標は連盟会員数を増やすことはもちろんですが、南区・中央区・緑区の3区ごとに支部ができること、やがて各施設に支部ができることです。役員一同地道にがんばります。

県央支部

支部長 奥本 信子



訪問は、政策を肌で感じているであろう訪問看護ステーションも含め訪問しています。

看護の役割が拡大するなか、国政に看護職の代表をぜひとも送らなければなりません。そのためにこつこつと進めていきたいと考えています。

県西支部

支部長 与那原明子



の70%近くが、自分の主張の機会を放棄しているもったいない状況が調査結果で分かりました。一人一人の力を集める事が出来る私達看護職は非常に強力な力を持つ事が出来るのですから、社会を動かす力を持っている職能団体です。早速国会に代表を送り、社会を変えましょう。

青年部

代表 又吉 慧



私自身ももっと上に向かって成長していく年になるよう、一層努力していきたいと考えております。まだまだ未熟ではありますが、今年も看護連盟の皆様のお役に立つことができるように尽力していく所存ですので、皆様のご指導・ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願いいたします。



国会 見学

■ 日時 平成23年10月14日(金)

■ 参加者 118名(会員76名、非会員46名)

昨年の105名を更に上回る参加をいただき、今回もバス3台連ねての見学になりました。季節柄、例年見学者が多いのですが、国会内で至る場所での混雑と渋滞、セキュリティの厳しさは、今迄経験したことのないものでした。震災後の影響や直前の国会議員へのサイバー攻撃が報じられた為のようでした。このような状況の為、議場での説明もないまま、立ち止まることも許されない見学となりましたが、昼食場所となった参議院会館では、たかがい議員の部屋を訪室し、議員椅子で記念撮影の時間がもてました。また、地元出身議員からは、震災後のあべ、たかがい議員の活躍に対する高い評価がありました。

編集後記

地震、津波、台風と未曾有の災害に打ちのめされた年が明けました。

例年のように、おめでとを口にするには、少々ためらいもありますが、平穏な日々を願う気持は、一層強い年明けです。

皆様のご健康とご活躍を期待しております。

(広報委員一同)

広報委員 由川 文子 山内美智子
島山 友子 川満 直美 浅川 仁美



感想

- もっと政治に目を向け、自分たちの力を注いでいく必要があると思った。
- 政治も丸ごと含めて考えてこそ、患者のためになるとわかった。
- たかがい議員はお話上手で、誠実さが伝わって、本当に素敵だった。人柄に感動した。
- 人を支える職業・看護職を社会にアピールしていくことが重要。
- 連盟の活動にもっと関心を持ち、周りにも伝えたい。
- メディアで報道されない議員の活動など話聞いて勉強になった。良かった。
- 時間をゆっくりもって見学したかった。混んでいる時期を避けた方が良い。
- 見学の時に何も説明・声かけがなく、どう動いていいのかわからなかった。

発行 神奈川県看護連盟

発行責任者 神部 周子

〒231-0037

横浜市中区富士見町3番1 神奈川県総合医療会館6F

TEL 045(263)2801 FAX 045(263)2802

<http://www.kanagawakangorenmei.jp/>



羽毛ふとんの東洋羽毛

リフォーム・クリーニングなど
羽毛ふとんのことなら何でも
東洋羽毛にご相談下さい。



Tested for harmful substances
according to China New Standard 100
Test No. 16-001 01/14 NIPPONEN Japan

「櫻花づし」はエリファスガード100認証商品です。



東洋羽毛首都圏販売株式会社
横浜営業所 横浜市旭区今宿西町1952-1

<http://www.toyoumo.co.jp>



0120-00-7663